



「一歩前」への秋

後期のめあてをつくる際に心がけたこと

学期再開日に、子どもたちの得意な「ノー原稿」の用紙を用い、後期のめあてを作成しました。

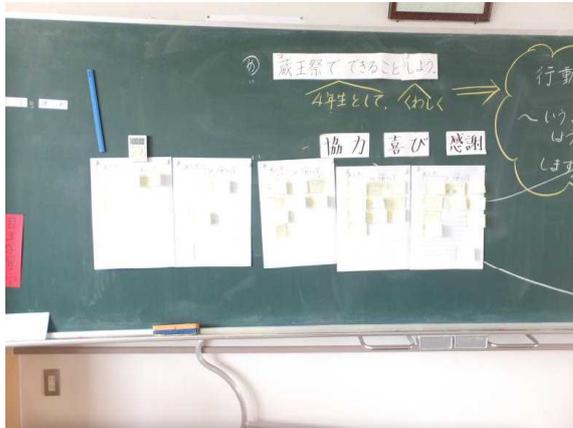
前期末の児童アンケートをもとに、「自分はどんなことができている、どんなことが足りなかったか」を考え、どんなめあてをもち今年後期を過ごすかを一人一人が考えました。そのめあてをより簡潔な言葉にまとめ、掲示用の作品とする学習を書写の硬筆の時間に行いました。

それぞれの立てためあてを定期的に振り返り、少しずつでもめあてを達成していく気持ちをもってほしいと思います。

11月3日実施の蔵王祭に向けて、「よりよい蔵王祭にするために」との取組を行いました。

まず、蔵王祭で「自分たちは4年生としてどのようなことを努力していくか」という働きかけをした後に、地区ごとに分かれ、「自分たちではこのようなことができないか」ということを考えさせ、文章にまとめさせました。

それらの活動でまとめたものを「蔵王祭行動宣言」の形にまとめ、どのようなことをしていくかをはっきりさせました。（写真は学習した後の黒板の様子です。）



活動のめあてがよりはっきりしたので、この蔵王祭が「4年生として高学年になるための成長の過程」となりました。